



ふれあいだより

3月



渋川学区のマスコットキャラクター
“しぶはなちゃん”

編集発行 渋川学区まちづくり協議会
(事務局：草津市立渋川まちづくりセンター内)
☎525-0025 草津市西渋川二丁目9番38号
☎077-569-0350 FAX 077-566-5143
メールアドレス shibukawa@machikyuu.jp
ウェブ サイト http://www.machikyuu.jp/shibukawa/



渋川学区 令和8(2026)年1月31日現在
人口 9,516人
男性 4,757人 女性 4,759人
世帯数 4,586世帯

まちづくり協議会より 渋川学区の将来像 ～笑顔・ふれあい・思いやりのまち・渋川～

迫力ある和太鼓演奏で新年をお祝い

1月10日(土曜)に、健康福祉部会主催で60歳以上の人を対象に『新春 お楽しみ会』を開催しました。

当日は、邦楽アンサンブル以音の皆さんによるお箏と尺八の演奏で始まりました。テレビのお正月番組などでよく流れている曲を生演奏でゆったりと楽しむことができました。

次に、太神太鼓フェニックスの皆さんによる和太鼓演奏で、秋田県や青森県など全国各地の有名なお祭りのアレンジ曲を大小の和太鼓や笛、鉦を使い迫力満点で披露してくださいました。最後に、草津市健康推進員渋川学区(会長倉田操さん)の皆さんが調理して下さった大根炊きを参加者や出演者、まちサポ、部会員など全員で健康を願いつつおいしくいただきました。参加者からは、「迫力ある和太鼓演奏で元気をもらえた」「お箏と尺八の新春らしい演奏で大満足です」という声が寄せられました。《健康福祉部会》



親子で春の寄せ植えに挑戦!



令和7年度子ども育成部会の最後の事業として、講師に水島たず子さんをお迎えし、1月24日(土曜)に「おやこ寄せ植え教室」を開催しました。学区内の親子18組が参加し、ビオラ、サクラソウビオラ、ジュリアン、プリムラポリアンサ(ジュリアン)、ガーデンシクラメン、白妙菊、エレンモニカ、ニベアなどの苗の植え方や育て方、またニベアの花を編み込んで鉢と花のバランスを調整する方法を教わりました。講師のアドバイスを聞いて植えていき、花のバランスなどを考えて春らしい寄せ植えが仕上がりました。家族で協力しながら概ね1時間ほどで完成させることができました。

参加者同士でお互いの寄せ植えを見せ合いながらそれぞれ満足そうでした。 《子ども育成部会》

京都市市民防災センターでリアルな災害体験

2月7日(土曜)に、地域安全コミュニティ部会主催で『まちづくり研修～バスで行く渋川防災研修会～』を開催し、総勢28人で京都市市民防災センターに行ってきました。この施設は人気ゲーム会社が手がけていて、4Dシアターなどの映像システムにより災害時を想定したリアルな体験ができます。多くのプログラムのうち、地震体験コーナーなど4つのプログラムで学びました。

参加者からは「地震体験が強烈だった。揺れが収まった後、ガスの元栓を閉めブレーカーの操作や避難経路確保までを実際にやってみて勉強になった」「強風を体験したが、実際の台風時は雨も降り飛来物もあるため、風水害対策の必要性を感じた」という声がありました。《地域安全コミュニティ部会》





～令和7年度をふりかえって

人とつながり澁川学区民が主役になれるイベントを！

地域安全コミュニティ部会では主に、防犯対策事業として「防犯カメラの維持管理」を、環境美化事業として「一斉清掃・花いっぱい運動」を、担い手育成事業として「澁川なんでもやる会」を、そして住民同士のふれあいを推進する取り組みとして「学区ふれあいまつり」の開催を担当しています。

まず、学区内に設置している防犯カメラ25台のうち、2台が故障していたため新しいカメラと交換しました。今年度も草津警察署などから問い合わせがあり、速やかな事件解決のために役立っています。

また、地域の環境整備や水害防止のため、各町内会に一斉清掃等のご協力をお願いしています。

担い手育成事業は、澁川なんでもやる会のメンバー

で、小学生や親子を対象に4つのイベントを開催してきました。8月には綾羽高等学校でお菓子作りを、9月には真新しいインフロニア草津にて国スポのアーティスティックスイミングの決勝戦を見学し、参加者だけでなく企画した澁川なんでもやる会のメンバーもボランティアとして充実したひと時を過ごすことが出来ました。

毎年秋に開催している「学区ふれあいまつり」は、降雨により安全に運営することが困難な状況だったため、まち協三役と協議した結果、中止の判断をいたしました。来年度はぜひ開催できるよう部会員一同祈っています。結びに一年間ご協力いただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

《地域安全コミュニティ部会 部会長 小西拓人》



年齢を重ねても健康で楽しく暮らせる澁川学区をめざして

澁川学区の皆さん、日ごろは**健康福祉部会**活動にご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私たち健康福祉部会では、学区内にお住まいの皆さんが年齢を重ねても住み慣れた澁川で楽しく健康に暮らし続けられるよう、また交流を深めつつ心身の健康増進につながるような取り組みを進めてきました。

各町内会での開催をお願いしている敬老会事業以外に六つの事業を開催しました。まず、適度な運動にチャレンジするきっかけとなるよう開催したウォーキングと体操教室です。「HATOスタジアム歩こう会」では、昨年国スポ・障スポの開閉会式や陸上競技の会場となった平和堂HATOスタジアムを見学しながら、後半は彦根城周辺の見事な紅葉やお堀の景色を楽しみながら歩きました。「アンチエイジング体操」では、若々しさを保つためスクワットなど自宅でもできる運動を学びました。



また、心が豊かになるよう「秋のミニコンサート」や「春までキレイ寄せ植え教室」「新春お楽しみ会」を開催し吹奏楽や園芸、お箏や和太鼓の演奏といった文化にふれる良い機会となりました。寄せ植え教室の後には、市の保健師さんや地域包括支援センターの職員さんを招いてフレイル予防などについて説明を受けました。参加者の中には職員さんに熱心に相談する人もいました。

通年行っている福祉グッズの貸し出しで今年度は高齢者サロンや老人クラブの皆さんなど延べ40件近くの借用申請があり、町内会館など身近な場所で楽しみながら活用していただくことができました。最後に、「まちづくりサポーター」の皆さんには各事業でご活躍いただきましたこと、この場を借りて心からお礼申し上げます。

来年度も多くの方のご参加をお待ちしております。

この一年間、事業運営にあたり、お世話になりました方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

《健康福祉部会 部会長 片岡 稔》

各部会長より ご挨拶～



地域の子どもたちのすこやかな成長を願って

日ごろは、**子ども育成部会**の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。当部会では、地域の大人と子どもたちがさまざまな体験を通して楽しく交流することや、青少年の健全な育成をめざして取り組んでいます。今年度は、地域協働事業として立命館大学学生団体の指導のもと、不要になったパソコン本体をどれだけ細かく分解できるか競い合った「ぶんかいまつり」や「親子でクレイ粘土教室」「おやこ寄せ植え教室」を、青少年健全育成事業では日本の伝統的な木造建築のように柱と横材とを組み合わせてジャングルジムを組み立てる「くむんだーで遊ぼう」と「あいさつ運動啓発作品&ぬりえ作品募集」「愛の声掛けパトロール」を開催・実施してきました。

また、渋川まちづくりセンターエントランスホールの一 corner に、親子で絵本を楽しんだり保護者同士の友だちづくりの場として活用したりできるよう、多くの絵本を設置して「しゅはなちゃん広場」として乳幼児と保護者にご利用いただいています。センター開館日の朝8時30分から夕方5時までの利用が可能です。



来年度もまた皆さんと一緒に楽しい事業を開催していきたいと思っておりますので、多くの子どもたちや保護者の皆さんの参加をお待ちしています。

《子ども育成部会 部会長 安藤 亘》



人権教育、伝統文化の継承、スポーツ大会の開催に取り組む



教育文化スポーツ部会では、教育面においては「人権事業」、文化事業においては「渋川花踊り練習会」と「渋川の歌の活用推進」、スポーツ事業においては、渋川スポーツ振興会の皆さんの全面的な協力のもと「学区大運動会」および「春季・夏季・秋季スポーツ大会(ソフトボール・ペタンク・ソフトバレーボール)」の開催、これら三つの事業に取り組んでおります。

大運動会は、今年度は残念ながら雨天中止となりました。来年度は是非とも開催したいと思います。

人権学習では、町内学習懇談会に向けた打ち合わせを行ったのち、それぞれの町内会で学習懇談会が実施され、実践発表のつどいの場で渋川中町町内会から取り組みについての発表がありました。また、同日開催した人権研修では渋川まちづくりセンターに講師を招いて『多文化共生社会を生きる』をテーマに学びました。

次年度も同様にこれら三分野の事業に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

《教育文化スポーツ部会 部会長 西川泰功》

渋川やすらぎ学級第7回開催



1月14日(水曜)に、渋川やすらぎ学級第7回講座「おでかけ薬剤師と気軽にトーク～医療や健康・お薬について～」で、一般社団法人びわこ薬剤師会会長大迫翔平さんをお招きして開催しました。昨年度の講座のお話のおさらいとくすりとは？それを扱う薬剤師の仕事とは？くすりの怖さとは？だからこそ薬剤師を活用しようの4つの観点から薬剤師さんの目線で受講生の皆さんに大変わかりやすく、今回は高血圧のお薬の事例を交えてお話していただきました。また、先発医薬品と後発医薬品について、それらの安全性についても詳しくお話いただきました。受講生からは、「かかりつけ薬剤師を決めて自分のことを知ってもらい相談していこうと思う」「マイナンバーカードの健康保険利用登録をしてマイナ健康保険証をスマホで使えるようにしておこう」などの声がありました。安全、安心にお薬を服用するためにも、かかりつけ薬局や薬剤師の重要性について考える良い機会となりました。

北山田の冬やさいを山盛り収穫

1月16日(金曜)に、渋川まちづくりセンター主催で食育講座「北山田の新鮮冬やさい収穫」を開催しました。公用バスに乗ってメロン街道に入ると、2,000棟ものビニールハウス群が見えてきて、参加者からは「うわ～！すごい！」と驚きの声が上がっていました。これらのビニールハウスには、かつて市の支援により地域が行った草津市畑地灌漑事業により一棟一棟に琵琶湖の水を引いた水道が整備されていて、北山田の一大産業を支えています。ビニールハウスの中に入ると、生産者の木内さんが数か月前に種を撒き、水やりや間引き、病害虫対策などをしながら丁寧に栽培してくださった葉物野菜が大きく育っていました。ほうれん草や水菜、春菊、はくさい菜、大根、青ねぎなどの収穫の仕方を教わった後、畝から引いていきます。全員持ちきれないくらいの野菜を抱えて帰ってきました。自分で旬の野菜を収穫し、各家庭で新鮮な野菜ならではのおいしさを味わい市内の農業についても学ぶ良い機会となりました。



来年度の渋川やすらぎ学級 受講生を募集します

渋川まちづくりセンターでは、60歳以上の皆さんに学びの場を提供するとともに、受講生同士の交流を深めることを目的に毎年「渋川やすらぎ学級」を開催しています。来年度も、ニュースポーツの体験や転写紙を使って磁器に簡単にデザインができるポーセラーツ体験などさまざまな講座を予定しています。また、講座のあとは書道や生け花、ヨガのグループに分かれて、それぞれ講師に指導を受けることができます。詳しくは、町内会を通じて3月1日号の広報くさつと同時にお届けする「渋川やすらぎ学級受講生募集」ちらしをご覧の上、申込書に必要事項を記入し参加費を添えて渋川まちづくりセンターの窓口でお申し込みください。なお、各講座は諸事情により内容の変更や、やむを得ず中止する場合がありますので、何卒ご了承ください。

渋川まちづくりセンター利用者アンケートの結果報告

令和8年1月に、渋川まちづくりセンターの利用者を対象に「利用者アンケート」を実施しましたところ、340人から回答がありました。主な集計結果を報告いたします。**アンケートで「適切」「やや適切」と回答した人の割合**です。ご協力いただき、ありがとうございました。

◎貸館の手続きについては72.88%、当センターの備品管理については74.60%、各種団体への施設提供や支援については71.81%、またセンター内の清掃については81.90%、各種講座の開催など学びの場の提供については71.33%、学区広報誌やホームページでの情報発信については70.72%という結果でした。

(4) また、職員の対応は「適切」と「やや適切」を合わせて82.02%でした。

草津市指定ごみ袋について

渋川福複センター1階にある『喫茶ホップ』で、草津市指定ごみ袋の引き換えと販売を始めました。プラスチック製容器類用、ペットボトル類用のごみ袋引換券との交換と販売、焼却ごみ類用のごみ袋の販売をしています。渋川学区の皆さんのご利用をお待ちしています。

営業時間は、平日・土曜日の10時から16時まで。日曜・祝日以外に夏季休暇と年末年始のお休みがあります。

***粗大ごみ処理券の取扱いはありません。**

職員の退職の

お知らせ
3月31日付けで、職員瀬川雪恵と井上和浩が退職いたします。地域の皆さまには大変お世話になり、ありがとうございました。

